令和2年 6月28日

第13号

〇六月二十一日が

夏至でしたが、

こ の

日

七月六日までが

四節

気でいう夏

至

0

れて咲きます。

ヘメロカリス(カンゾウ 萱草)

植えて 日 芽を出し毎年花を咲か ーカ しかもたない。 を意味する ロス」 す。 の2語から来ているそうです。 「ヘメロ」 カリスの名前 赤、 才 せる宿根草。 レンジ、 と、「美」と言う はギリシア語 黄などを 花が 短

> 生 ħ

は

がくる です。 ら 早くも真夏日が増えました。 す と書くように、 にぶん)」 0 0 期 一番短 間 中 .です。 間の 大気や海水が暖まって暑さのピーク 太陽が高く、 0 春分と秋分で、 い冬至と一番長い夏至、そしてそ は といわれています。「夏に至る」 二十 一ケ 月後 いよいよ本格的な夏の到来 四節気の 二十 昼間 0 はずです が最も長いときで 重要な節目 「二至二分 が……。 にし 日



アカンサス

てしまう、

にしおれてしまいました の真似をしてみました。 られていました。 生けら 井上三郎先 月 ħ 刊 な 誌 生が v 『華. 0 かとい 道 アカンサスの 以前より 7月号の 水上がりが悪く わ ガー れてましたので、 デナーから、 生花正風体を生 「季を いける」 すぐ

す。

恨

む男

女

平安貴族

すばらしい

で止

め

てい

ました。

紫式部

け

池

坊

姫 桧扇水仙がありますが、 桧 扇水仙(ヒオウギスイセン)の小ぶり こちらは 1 週間ほど遅 なも

桧扇水仙





ういえば清少納言が 気持ちを重ねて読んだ季語だそうです。 暑さで寝苦しい内にたちまち朝 短夜という言葉には夜の明けやすさを 短夜(みじかよ)」 ならこちら の情も重 の恋愛は妻 その夏 時間帯は夜と言っていました。 い清少納言は月と蛍とそして雨 一ねら 0 の話を書く 明 問 『枕草子』で夏の最も という言葉 れたことでしょう。 け 婚(つまどいこん)で ť すい夜を惜 ので になっ L ŋ ì ま

ガウラ(ハクチョウソウ)

マ

ス

クを

しての授業で

す。 め

朝からエアコ

コ 三  $\bigcirc$ 

口

ナ

0 数 ょ

感染

を防

ぐた

生

徒 立

ŧ

教

師

ŧ

終

日、

時

間 高

ですが

教壇に

ていま

す。

モ

収

穫

四

月

ŋ

校 0

非

常勤

講

師として、

週

15

はフ

稼

働

ですが窓を開けての授業

べです

ャ

1

見 ガ

> る す

が

っ モ 2

季節の移り変わりに敏感な人の情感から来 短夜とよく似た季語に、 (たんじつ)」 るのでしょうか 永は夏で、 秋の「夜長 があります。 短 日、 (よなが)」、 夜長は冬ですが、 春 0 天文学的に 「日永 冬の 短短  $\widehat{v}$ 

です。

ど

0)

職場も大変かと思いますが

梅

間ごと

15

マ

スクを替えない

とい

け 0

ない

状態

0

ほ

とん

どは

話しまくっ

7

Vì V

る

時 内

15

. あ

まり

発言を求め

Ġ

n な

ので授業

o)

無 ル

より

はましという程度です。

生徒

雨

が明

け

た後が思いやられます。

なが)」、

は、

日

ま

カシバの幼虫が葉を食い尽くしてしまいま

この

花が秋に

は 紫の

実となりま

す。

る 15

そ

油

用

生薬

クチナシ(これは八重の大きい花)

乗り切れるか。 これでこの夏は

ムラサキシキブの花

漬 けにしました。 た梅をシロップ 先生からいただ 先日 の役員会で

です。 だ きたジャ 卜 だ マト ٢ が ーポ マ V ١ ぶ前になりますが、 にそっくり。 できる、 地 0 マ 下には ガイモとト 細胞融合により ト」を思い 一石二鳥 ジャガ さす マト 出しま イモ、 の夢 が は 作 同 'n ょ 時 て 1

なプチ

ì

未

ました。

る大きさでは ということで話題になりました。 無か つ たということでした。 大きな話題を呼ん らした。 とても食用にな のような じナス科です。 地上に 出され ポ 実際にで はト ・テト 植 た ŧ 物 だ マ Y



ナスの花

せてくれます。 年草で、こぼれ種から芽を吹いて毎年楽しま 花の形を春車と見立てて名を覚えてい ハルシャとはペルシャのことらし

ます。

蛇の目は見ての通りです。



タイマツバナ(モナルダ)

ハルシャギク(蛇の目草)

使ってみました 度立華新風体に テ 主張が激しす ッポウユリは





テッポウユリ アガパンサス ヤマボウシ

壺に投げ込むのが無難です。。

しか

.ったです。

を動かしながら何枚か撮った一枚がこれです。 ました。 サスの生花を月次会用にスマホで真剣に撮ってみ P上にアップすることになりました。 月次会が三密を避けるため、 9枚の葉がすべて見えるように葉の位置 各自生けた写真を アガパン ど

Н



よく使います。 野性的な姿とやさしい色彩が好きで、



ロシアンセージ

アメリカシモツケ、バレンギク(球にして)、ギボウ ススキ、リアトリス、 立華新風体(ダリア、クチナシ、 アジサイ、 ロシアンセージ、 フェイジョア、

の取 ます」ね。 ない気がします。 繊 り合わせの方が見た目には面 細な色彩や線は、 当たり前ですが 線と面 写真にするともう一つ味気 0 「写真は実際とは異なり 取り合わ 白い せ 0) 濃 かもし 心い色彩

だを出 て ら j ず ま 晴 す。 でた た ち 右手にゴ 日 っです。 は バ ラ ム手袋、 0 害 虫取 りに

んで逃げることがあるからです。 いきます。 くと落ちてきます。 て ラゾウムシ 0 ところか としてい を下に受けて花や新 ま バラゾウムシは死んだふりをし す。 ますが 新芽の 黒い は 一時 素早く 点が お より少 いし 油断 あるように見 芽 右 なく 手でつぶ 0 してい VI 上 ところ 一から な ると飛 えたた に集 たた して た 花



バレンギク



ルドベキア

です こ の ます 落下します。 シよりは賢く、 の中 近 探 0 にして土に潜るところを見たのです。 ることはできず不思議 ち  $\lambda$ てつぶしていきます。 素早く下へ持って行き上 してしまいます。 出てきま す É れるまでに自ら獲物 i 生 コ 育 生息 ŧ から彼らにとっては当 思えば土の中にい ることが 0 付近を探した 目 ガ ネ は で見るまでは いすが、 悪く 諦 ある日、 葉を葉脈 L ム n め 根を ま シ 下へ落ちたときにはすぐに落 いせん。 まし 大事です。 なりま は バ 食 気配を察すると手鍋を下 か これ た。 落ちたコガ ラの 害し だけ 0 わ す。 です そ 信じら ですが、 も見 気 花の てし た に思っていまし から手を離して自 残して網 n VI 時 配 からたたき落とし で 五 以 間の 月頃 まう を感じさせ 降 たり前の芸当な つ 真ん中をか す れませ は ネ けたら手 い 介ら成 方が ・ムシが 落 つも見つけ 目 0 バ ちた ラゾ 状に で、  $\lambda$ 長 虫 ずに でし た。 ゥ 鍋 一瞬 食害 じ 虫 私 植 は 0

4 付 ける 番 と ŧ 0 大 1 ラ 敵 週 が 出 は 間 始 枯 カミキ ほ めました。 n ど てし 前 IJ から ま ム シ(テ 卵を幹 体長5 ま に 産 m ポ 見

> ころ 指 る け Y たら 15 を上手に 噛 飛 4 び す 立ち つ か 捕 つか ます れます。なか 殺 する Ĺ まえない 0 上から首根 みで なかの とそ す 0 難敵で っこの 強 油 歯 を で

です。「鳥の目で全体を見、 キリ ですが、 く見る」 ません。 人間たる 鳥 2 虫を探してい 大きなカミキリ 5 0 3 そうは簡単に行 と様々のことが ビジネス界でよく言わ 目、 ゆ mm えんだと自らを慰めてい 虫 バ 0) ラゾ 目 るとバ 虫 ウ が は見えません。 ム 見えてくる、 害 ラゾウムシは か 由虫退治 ない を 虫 探 のが れるところ 0 目 l て も必 人間 で ま カミ は

す。 キリ С 害 m に満 を見 虫 な 退治を て私 かけ たないような子供 る してい 0 よう 手助けをし になり る ٤, ですが、 てほしい ました。 あちこち 早く でカ まだ2



シャボン草 昔は洗濯に使ったらしい

- 5 -	
-------	--